

# 3-5 逆指値M注文

## 【逆指値M注文】

逆指値M注文は、現在値を中心として、買いの場合は「以下」、売りの場合は「以上」の逆指値条件を設定し、その価格に到達した時点で「成行」または「指値」注文を発注する注文方法です。

### 【買付・新規建注文の場合】

①「買付注文画面（現物）」または「新規建注文画面（信用）」を表示させます。

②注文種類のタブのうち、[逆指値M]を選択します。

③銘柄コードの項目に買付したい銘柄コードを入力し、「時価更新」ボタンをクリックします。

④それぞれの項目を入力します。  
1.口座区分を入力します。  
2.注文株数を入力します。  
3.指値注文を発注する発注条件価格を設定します。  
4.発注条件価格に合致後の、執行条件（成行・指値）を選択します。  
5.指値注文の価格を入力します。  
※成行の場合は不要

⑤有効期限を選択します。  
※注文期限は発注日から最大30営業日です（権利付き最終日を越える注文はできません）

⑥インサイダー取引に関する注意事項をお読みいただき「注文確認へ」をクリックします。

■「クリア」…入力した情報が初期化されます。

-以降、通常の注文と同様-

## ポイント 発注条件価格に合致後の「執行条件（成行・指値）」について

「成行」または「指値」を選択した場合のメリット、デメリットを解説します。

### ■ 成行

- ・メリット : 成行注文が発注される為、注文数量の全量が約定する可能性が高い。
- ・デメリット : 成行注文が発注される為、取引が少ない場合や値動きによって、逆指値の条件価格から乖離した価格で約定する可能性がある。

### ■ 指値

- ・メリット : 逆指値の条件合致後、指値注文が発注される為、指定価格より不利な条件で約定することが無い。
- ・デメリット : 指値注文が発注される為、指値価格の設定や相場状況によっては、全量が約定するとは限らない。